

LCAとRAの相違点

	LCA	RA
目的	重要な物質やプロセスの見極め	リスクの大小、費用対効果
評価対象	製品・サービス	物質
評価対象物質	10以上の影響領域 10～1000物質	1物質
実施者	主に企業の製品設計者	専門家
研究者の役割	評価を支援する手法・データベースを開発	評価を行うこと
報告対象者	企業、取引先、消費者	政府、消費者